

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

Service News サービス・ニュース

▶8月1日より
 インターネット席
 データベース席
 の1日の利用時間が増えました
 情報検索にご利用いただけるインターネット席とデータベース席が1日2回使えるようになりました。お調べものにぜひ活用ください。

【変更前】1日1回 → 【変更後】**1日2回**
 (1回のご利用は1時間まで)

◆お待ちの方がいない場合は連続してご利用いただけますが、その都度カウンターでのお手続きが必要になります。

9月のデータベース講座のご案内

[i JAMP を使った行政情報の調べ方]

9月16日(火) 12:15~13:15 / 18:00~19:00
 17日(水)

※講座概要は各回とも同じです。

■ 場所: 2階図書フロア カウンター前
 ■ 参加費: 無料

前回までの講座報告を当館Facebookページに掲載しています。

<https://www.facebook.com/hibiyal>

事前申し込みは不要、どなたでも参加していただける講座です。当日は直接会場へお越しください。

ZONE PICK UP! 2F オレンジゾーン
 【法律・政治・ビジネス・統計・参考図書】の本を集めたゾーン

「働き方の可能性 ~雇用と労働の今、これから~」

総務省統計局の「労働力調査」によると、2013年雇用者全体に占める非正規従業員の割合は36.6%に達しました。また「限定社員」のような新しい雇用形態の選択も提案されています。私たちの働き方は今後どう変わるのか、さまざまな切り口から働き方の現状と今後の可能性について考えます。

本や雑誌だけではなく、行政資料もご覧いただけます。

9 月の展示情報 ※展示内容は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「変化と回帰の一世紀 -東京駅開業100周年記念-」(9月中旬)
 開業から今年で100年の東京駅。「100年」という歳月がもたらした変化を、各時代の象徴的な出来事を題材にした本を集め、年代順に展示しています。

2F ホール 国際アンデルセン賞 作家賞受賞 **NEW!**
 上橋菜穂子氏パネル展 (9/16~)

3F ブルーゾーン 「早すぎた芸術家」 **NEW!**
 “生前は無名” “発表当時議論をかもした” “批判された” など、様々な角度から「早すぎた」芸術家、文学者、音楽家たちに焦点をあてます。

3F ホール 「変化と回帰の一世紀」(協力:東京駅フォトグラファー佐々木直樹)
 ガラスケースに東京駅の写真と貴重な関連グッズを展示中。(9月中旬)

3F グリーンゾーン 「考えるケンチュウ」
 建築物が生まれた背景にはどのような思想や哲学があるのでしょうか。建築家の思想や、近代から現代にかけての建築史を読み解く本を中心に紹介しています。

日比谷カラーレッシング報告

「インフォプロと図書館の新たな役割
 米図書館協会(ALA)の取り組み
 'Libraries Change Lives」

講師: バラバ K・ストリプリング
 (2013~2014年米図書館協会(ALA)会長)

司会: 糸賀 雅児
 (慶應義塾大学文学部教授)

人が貸出資料に? 生い立ちがユニークな人、さまざまな宗派の人などに来てもいい、この人と話してみたいという人を選び1日色々な人と話ができて Human Books というユニークな事例の紹介を交えながら、米図書館協会の取り組み等についてお話いただきました。社会が変化の中、図書館も司書も変わっていく必要がある、それは国境を越えて共有していくべきとの言葉が印象的でした。

7/29 (火)

手作りのウェルカムボードに笑顔がこぼれるストリプリング氏。

わたしの一冊

「現代の批判」 キルケゴール 著
 梶田啓三郎 訳

私が初めて手にした「哲学」の本で、高校2年生の夏休みに少しずつ咀嚼するように読み進めました。タイトルの「現代」は百年以上昔のことであるけれど、作者のはつきりとした様々な物事の捉え方は共感できるどころも、そうでないところもあり、批判的精神を持って考えるきっかけを与えてくれた一冊です。

当館スタッフの推薦本を紹介いたします。
 ◆おすすめする人
 総務・経理部門
 山本英博

「現代の批判 他一冊」 岩波書店 1981年
 実存主義の祖と言われるセーレン・キルケゴールが19世紀のデンマークの「現代」社会を分析した書。

特別展 (予告) TADAHIKO HAYASHI
林忠彦写真展
 日本一の作家109人の顔

作家が「文士」と呼ばれていた時代、彼らの肖像を描いた写真家がいた。

昭和を代表する写真家の一人、林忠彦(1918~1990)が日本の作家109人を撮った写真展。作家が文士であった昭和という時代。その時代を生きた「顔」を記録した写真107点に加え、もう一つの作家の「顔」といえる代表作や初版本が展覧会に華を添えます。エネルギーがあふれる時代の息吹を、彼らの姿とその作品から、感じ取っていただければ幸いです。

本展のみどころ

- 未公開のコンタクトシート
 決定カットとその前後のカットが入ったコンタクトシート4枚を初めて展示します。
- コンタクトシートとは、ネガフィルムを一枚の印画紙に焼き付けたものを、プリントする写真を選ぶために利用されます。
- 井上靖の直筆原稿
 林忠彦に寄せた「林忠彦氏の仕事」の直筆原稿6枚が展示されます。

坂口 安吾



2014年
9月26日(金)
 ↓
11月25日(火)
 ※休館日: 10月20日、11月17日

■ 会場: 1F特別展示室 ■ 観覧料: 一般300円 大学・高校生200円
 ※千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料

■ 開室時間: 平日10:00~20:00、土曜10:00~19:00、日祝10:00~17:00(入室は閉室の30分前まで)

■ 特別協力: 周南市美術館 ■ 協力: 神田古書店連盟
 ■ 監修: 林義勝 ■ 企画協力: モッシュブックス

対談 「林忠彦の見た、昭和という時代」

戦後写真史を俯瞰し、林忠彦氏の仕事について語り合う公開対談。

■ 講師: 岡井耀毅(写真ジャーナリスト)、飯沢耕太郎(写真評論家)
 ■ 日時: 10月18日(土) 14時~15時30分(受付13時30分~)

上記 ■ 場所: 日比谷図書文化館 地下1階コンベンションホール(大ホール) ■ 参加費: 各1000円(千代田区民の方500円 ※住所が確認できるものをお持ちください) いずれも ■ 定員: 200名(申込順、定員になり次第締切) ■ 申込み: 電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館のうえ1F受付にて

鼎談 「林忠彦の写真にみる文士たちの生き様」

戦後の激動の時代を生きた「作家」とはどのような存在だったのか、林忠彦、作家の坂口安吾、檀一雄のご子息たちが語る公開鼎談。

■ 講師: 坂口綱男(写真家)、檀太郎(エッセイスト)、林義勝(写真家)
 ■ 日時: 11月4日(火) 19時~20時30分(受付18時30分~)

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2014年 9月							2014年 10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
										1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <http://hibiyal.jp>

access

都営地下鉄
 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 東京メトロ
 ●千代田線「日比谷駅」A14出口 徒歩5分
 ●丸の内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩5分
 JR「新橋駅」徒歩10分
 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。



9・10月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。
「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

9/2 (火) 日の丸ニッポンが世界に勝つ方法 第3回 滑り勝つ ー空気抵抗を制覇せよ！

講師：望月 修(東洋大理工学部生体医工学科教授)

スケートやスキーなど“滑る”競技は、陸上や水中での競技以上に空気抵抗の軽減が重要な課題となります。スキージャンプ日本代表チームの飛行姿勢の解析に取り組んだ講師が、空気や水の流れ、摩擦を考える流体力学の視点から、科学を味方につけてメダルを勝ち取るオリンピック必勝法をお話します。



- 日時:9月2日(火)19:00~20:30 (18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

9/6 (土) ストーリーマンガ時代のはじまり ー日本・アメリカ・フランスの1930年代

講師：佐々木 果(まんが史研究者)

日本のストーリーマンガ、アメリカのコミック、フランスのバンド・デシネ。国によってそれぞれ個性豊かに進化したマンガの姿は、どのようにして形成されてきたのでしょうか？それぞれのマンガが発展していく歴史の中で、各国とも爆発的な進化のあった1920~30年代に焦点をあてて、現代マンガの原点を世界史的な視野で探ります。



- 日時:9月6日(土) 16:00~17:30 (15:30より受付)
- 会場:4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

9/10 (水) 第25回 江戸歴史講座 出光美術館「宗像大社国宝展」開催記念ー「海の正倉院」沖ノ島の神宝と宗像大社の歴史をたずねてー

講師：八波 浩一(出光美術館学芸課長代理)

遠くペルシャや中国・朝鮮からの将来品を含む約8万点におよぶ奉獻品が発見され、「海の正倉院」とも呼ばれて広く知られる沖ノ島。沖ノ島出土の奉獻品(国宝)が一同に集まる展覧会開催を記念し、シルクロードを通じた大陸諸国との対外交渉史における沖ノ島と宗像大社に祀られる宗像三女神信仰の意義を考えます。



金製指輪 沖ノ島7号遺跡出土 朝鮮・古新羅時代 国宝

- 日時:9月10日(水) 19:00~20:30 (18:30より受付)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員:200名 ■ 参加費:1000円(千代田区民500円)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

9/12 (金) 日比谷コトづくり塾 <第8回> 日比谷発!最新トレンド発信 「キャラクター戦略で地域を元気にする」 ~キャラクター認知度向上からファンを増やす展開手法まで~

講師：水津 陽子(合同会社フォーティR&C代表・地域再生コンサルタント)
田中 信行(熊本県東京事務所 首席審議員兼次長)
平野 慎太郎(株式会社小学館集英社プロダクション執行役員)

「キャラクター戦略で地域を元気にする」をテーマにパネルディスカッションを開催。パネラーの熊本県には、「くまモン」誕生から現在までの認知度向上からファンづくりを、小学館集英社プロダクションには、キャラクターイベントや着ぐるみショー、「ワールドホビーフェア」の認知度向上とファンづくりにお話いただき、参加者の皆様と議論して参ります。(主催：一般社団法人日本経営協会)



©2010熊本県くまモン 協力：銀座熊本館

- 日時:9月12日(金)13:30~16:30 (13:00より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:5400円

9/18 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー 第9回 内田嘉吉が取り組んだ大正・昭和初期の日本の課題 ~化学工業博覧会と通信インフラ構築~

講師：菅谷 彰(千代田図書館ゼネラルマネージャー)
白井 良雄(特別研究室ナビゲーター)

第一次世界大戦中にアメリカの急速な発展を見た内田嘉吉は、日本の化学産業の振興を図るほか、日本の国際通信インフラの構築に取り組み、日本無線電信株式会社を設立しました。内田嘉吉文庫を紐解いて、大正・昭和初期の日本の工業化と通信事業に対し、内田嘉吉が果たした役割について紹介します。



【日本無線 第4号】(日本無線電信株式会社編/1927年)

- 日時:9月18日(木)19:00~21:00 (18:30より受付)
 - 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員:60名
 - 参加費:500円(千代田区民無料)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

9/19 (金) 千代田区民講座 千代田百景よもやま話

講師：下田 祐治(神田の街を描き続ける会代表幹事)

千代田区(神田)にこだわって街を描き続けて30年。再開発で街は変わっても、懐かしい風景が「絵」になって残っています。現在の街の様子と比較して、30年前には想像できなかった変化についてお話しいたきます。(主催：NPO法人神田雑学大学)



【交通博物館】(下田祐治/2005年)

- 日時:9月19日(金)19:00~20:30 (18:30より受付)
 - 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員:60名 ■ 参加費:無料
- ※2014年8月20日(水)から千代田区民先行受付開始。区民以外は27日(水)から受付開始。

9/27 (土)他 秋の文学講演会 名著さんぽ倶楽部(全2回) 第1回「日比谷界隈をそぞろ歩き」

講師：坂崎 重盛(文筆家)

日比谷や神保町界隈をテーマに、名作の舞台や文豪の足跡をたどる、まるで散歩をしているような文学講演会。小説の舞台、作家の散歩道や通った店など、本をめぐる東京街歩きに関する著書多数の講師がお話します。第1回は日比谷界隈を、第2回は神保町周辺をテーマに、ステッキなど散歩に欠かせない洒落アイテムの話などもご案内。講師秘蔵のコレクションである明治時代の錦絵や、石版画などもご覧いただく予定です。



- 日時:9月27日(土)14:00~15:30 (13:30より受付)
- 会場:4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:各回1000円 <第2回予告>
- 10月4日(土)14:00~15:30「神保町廻りをステッキ片手に」

9/29 (月) 第26回江戸歴史講座 EDO ART EXPO 連携企画 「江戸300年の女性美 ー浮世絵に描かれた化粧と髪型」

講師：村田 孝子(ポーラ文化研究所 化粧文化チーム研究員)

江戸時代の女性美といえば、化粧、髪型、衣装ですが、今回は、そのなかの化粧、髪型について、浮世絵から探っていきます。当時の化粧は、白粉、紅、お歯黒、眉剃り、眉作りが基本でした。また、髪型は身分、階級、職業、未婚、既婚、そして時代によっても違いがありました。化粧、髪型など浮世絵から女性美を再発見していきましょう。



【花魁吉旦安 元服より 歌川国貞改め意国】

- 9月29日(月)19:00~20:30 (18:30より受付)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名
 - 参加費:1000円(千代田区民500円)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

9/29 (月) 霞ヶ関官庁街の成立 関東大震災と第二次大戦 ー都心部の構造を変えた激動の時代ー

講師：宮田 章(元建設大臣官房審議官)

中央官庁街は霞ヶ関と大手町にかけて分散していました。それは明治以来の懸案となっていました。その後、関東大震災が起き、霞ヶ関に集中する歴史と第二次世界大戦により変貌していく街の姿を、当時の建築のスライド写真とともに振り返ります。(企画・協力：NPO法人建築から社会に貢献する会)



関東大震災後の大蔵省(国立科学博物館HPより転載)

- 日時:9月29日(月)19:00~20:30 (18:30より受付)
- 会場:4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:1000円

10/7 (火) 日比谷オペラ塾・特別講演会 「茂木健一郎、ワーグナーを語る。~感動と癒しのメカニズム~」

講師：茂木 健一郎(脳科学者)

様々な視点からオペラについて語る日比谷オペラ塾。この度は特別講演会として、ドイツ・オペラの巨匠リヒャルト・ワーグナーを愛してやまない脳科学者の茂木健一郎氏をお招きします。オペラ愛好家、そして科学者としての見地から、その楽曲がもたらす感動と癒しのメカニズムについてお話しいたします。(主催：フェニーチェ劇場友の会)



- 日時:10月7日(火)19:00~20:30 (18:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1500円

10/8 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス2014 【初級・体験版】「イノベティブ・マインドセット ー自分の中のクリエイティビティを知る①」

講師：富田 欣和 (慶應義塾大学大学院SDM研究科特任講師、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科講師)
麻生 陽平 (慶應義塾大学大学院SDM研究科非常勤講師)
渡辺 今日子 (慶應義塾大学大学院SDM研究科研究員)

イノベーションの創出に大切なクリエイティビティ。本講座は実践で磨かれてきた慶應SDMのメソッドにより、参加者ひとりひとりが潜在的に持っているクリエイティビティに気づきこれを発揮することで、イノベティブなマインドセットを体感するワークショップです。



- 日時:10月8日(水)19:00~21:00 (18:30より受付)
- 会場:4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:30名 ■ 参加費:3000円

古文書塾“てらこや”体験講座

体験講座 各回1000円 古文書塾“てらこや”は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。10月の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。各コース別の体験講座実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試しください。

	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(火) 10:10~	9/16 9/30
		(木) 13:30~	9/11 9/25
		(金) 18:30~	9/26 10/3
	いろはの次 ー大江戸大変ー	(月) 18:30~	9/22
本科コース 120分	黒船ショック ー黒船来航事件を古文書から読み解くー	(火) 18:30~	9/16
	武家文書を読む ー老中にもみる幕府官僚事情ー	(水) 13:30~	9/24
	文人画と碑文 ー掛軸を読むー	(水) 18:30~	9/17
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金) 18:30~	9/19
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30~	9/27
特別講座 90分	大久保利通の手紙を読む2	(火) 19:00~	9/30
	浮世絵を読む	(水) 10:10~	10/8
	女性の風俗を読む	(水) 19:00~	10/1
	くずし字で読み解く茶の湯の伝書	(木) 13:30~	9/18
	江戸を楽しむ ー続・江戸の寺社あれこれー	(木) 18:30~	9/25
	江戸のサイエンス ー元禄期の科学文化をたずねてー	(金) 13:30~	9/26
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30~	9/27
【翻字者育成講座】ハーバード大学蔵「源氏物語 蜻蛉」を読む	(木) 18:30~	10/2	

- 参加費:各回1000円 ■ 会場:4階セミナールーム(会議室)
- 資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340) 古文書塾てらこや担当

特別研究室ミニ通信 開催中 ~9月21日(日)

特別研究室企画展示 「一等国」に足りないもの

ー内田嘉吉が取り組んだ大正・昭和初期の日本の課題

通信官僚・内田嘉吉が台湾総督府民政長官の任務を終えて帰国した1915年から取り組んだ化学工業の振興、工業化に伴う事故や災害の防止、都市計画、対外無線電信設備の整備など、その後脈々と引き継がれ今につながってきた仕事にかかわる本を紹介しています。中でも都市計画に関しては、都市研究会(会長・後藤新平)副会長として、大都市が抱える問題を調査研究し機関誌『都市公論』を発行して提言を続けました。この『都市公論』には関東大震災後、帝都復興計画に関する論稿が相次いで発表されています。今なお参考資料として活用できる書籍の数々をご覧ください。



▲【都市公論】第4巻5号「新設せらるべき東京駅東口」(都市研究会編/1921年)